

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果と学位論文等審査基準の対応マップ

		卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果		
		1	2	3
学位論文審査基準	1	○	◎	◎
	2	○	◎	◎
	3	○	◎	◎
	4	○	◎	◎
	5	○	◎	◎
	6			

人文科学研究科フランス文学専攻博士後期課程の学位論文を評価するためのルーブリック

	尺度5 (S) (特に優秀な成績)	尺度4 (A) (優秀な成績)	尺度3 (B) (要求を満たす成績)	尺度2 (C) (合格と認められる最低の成績)	尺度1 (D) (不合格)
研究課題の明確性及び先行研究を踏まえての的確性	研究課題が極めて明確に設定されており、かつフランス語文献をはじめ国内外の先行研究を包括的に把握し、極めて適切に参照、引用していること。	研究課題が十分明確に設定されており、かつフランス語文献をはじめ国内外の先行研究を包括的に把握し、十分適切に参照、引用していること。	研究課題が明確に設定されており、かつフランス語文献をはじめ国内外の先行研究を包括的に把握し、適切に参照、引用していること。	研究課題が概ね明確に設定されており、かつフランス語文献をはじめ国内外の先行研究をある程度包括的に把握し、参照、引用していること。	研究課題が明確に設定されておらず、フランス語文献をはじめ国内外の先行研究を理解しておらず、適切に参照、引用していない。
課題を追求する上で方法論の適切性	研究分野に関する極めて包括的な専門的知識に基づき、研究課題に極めてよく対応した方法論が極めて批判的に検討され、極めて適切に採用、実施されていること。	研究分野に関する十分に包括的な専門的知識に基づき、研究課題に十分に対応した方法論が十分に批判的に検討され、十分適切に採用、実施されていること。	研究分野に関する包括的な専門的知識に基づき、研究課題に対応した方法論が批判的に検討され、適切に採用、実施されていること。	研究分野に関するある程度包括的な専門的知識に基づき、研究課題に対応した方法論がある程度批判的に検討され、概ね適切に採用、実施されていること。	研究分野に関する専門的知識が包括的ではなく、研究課題に極めてよく対応した方法論が批判的に検討されておらず、適切に採用、実施されていない。
研究方法及び調査方法の妥当性	研究分野と研究課題に求められる研究方法および調査方法が極めて適切に採用され、フランス語文献をはじめ国内外の資料収集、読解、分析のプロセスが極めて妥当かつ国際的水準に極めてよく合致していること。	研究分野と研究課題に求められる研究方法および調査方法が十分適切に採用され、フランス語文献をはじめ国内外の資料収集、読解、分析のプロセスが十分妥当かつ国際的水準によく合致していること。	研究分野と研究課題に求められる研究方法および調査方法がある程度適切に採用され、フランス語文献をはじめ国内外の資料収集、読解、分析のプロセスが妥当かつ国際的水準に合致していること。	研究分野と研究課題に求められる研究方法および調査方法がある程度適切に採用され、フランス語文献をはじめ国内外の資料収集、読解、分析のプロセスがある程度妥当かつ国際的水準に多少は合致していること。	研究分野と研究課題に求められる研究方法および調査方法が適切に採用されておらず、フランス語文献をはじめ国内外の資料収集、読解、分析のプロセスが妥当ではなく国際的水準に合致していない。
結論の妥当性	博士論文の構成、論述が極めて緻密かつ明晰で、極めて説得力のある結論が極めて実証的かつ整合的に導き出されていること。	博士論文の構成、論述が十分に緻密かつ明晰で、十分に説得力のある結論が十分に実証的かつ整合的に導き出されていること。	博士論文の構成、論述が緻密かつ明晰で、説得力のある結論が実証的かつ整合的に導き出されていること。	博士論文の構成、論述がある程度緻密かつ明晰で、ある程度説得力のある結論が概ね実証的かつ整合的に導き出されていること。	博士論文の構成、論述が緻密かつ明晰ではなく、結論には説得力がない。結論の導き方も実証的かつ整合的ではない。
研究の独創性と研究分野への貢献	研究の内容が国際的水準に照らして極めて独創的かつ先端的であり、研究分野の発展に多大に貢献しうること。	研究の内容が国際的水準に照らして十分に独創的かつ先端的であり、研究分野の発展に大いに貢献しうること。	研究の内容が国際的水準に照らして独創的かつ先端的であり、研究分野の発展に貢献しうること。	研究の内容が国際的水準に照らしてある程度独創的かつ先端的であり、研究分野の発展に多少は貢献しうること。	研究の内容が国際的水準に照らして独創的かつ先端的ではなく、研究分野の発展に貢献しえない。
その他					